

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第3回 所沢市上下水道事業運営審議会
開 催 日 時	令和2年10月15日(木) 14時から16時30分まで
開 催 場 所	上下水道局庁舎 3階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	越阪部 眞、柿木 薫、金子 修三、北野 大、工藤 佳代子、 小橋 さとみ、高橋 巳喜次、平本 登(50音順)
欠 席 者 の 氏 名	齋藤 賢吾
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 所沢市水道ビジョンの策定について (2) 所沢市水道事業経営計画の策定について (3) 令和元年度 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について (4) その他
会 議 資 料	・ 令和2年度 第3回所沢市上下水道事業運営審議会 次第 ・ 資料3-1 所沢市水道ビジョン(素々案) ・ 資料3-2 所沢市水道事業経営計画 委員提出意見一覧 ・ 資料3-3 所沢市水道事業経営計画(素々案) ・ 資料3-4 収支計画説明資料 ・ 資料3-5 令和元年度 上下水道局施策事業の評価まとめ

担 当 部 課 名	上下水道局	局長	北田 裕司	
	上下水道局	次長	肥沼 宏至	
	上下水道局	総務担当参事	磯 稔	
	上下水道局水道建設担当参事		松山 幹明	
	経営課	課長	小池 純一	
	窓口サービス課	課長	細田 和彦	
	給水管理課	課長	根岸 清	
	下水道整備課	課長	岩崎 幸司	
	下水道維持課	課長	吉田 進一	
		(事務局)		
	経営課	経営戦略担当主幹	田島 幸雄	
	"	主査	東 和秀	
	"	主任	内野 直人	
	上下水道局経営課	電話04 (2921) 1087		

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1. 開会（事務局により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北野会長挨拶 ・資料の確認 ・会議の成立の報告 <p>2. 北野会長の議事により進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴希望者の確認（傍聴人なし） <p>3. 議事</p> <p>（1）所沢市水道ビジョンの策定について</p>
北野会長	<p>議題「（1）所沢市水道ビジョンの策定について」事務局より説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>（資料3-1に基づき説明）</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。</p>
北野会長	<p>54頁の環境づくりの写真（中学生職場体験の様子）は何をしているところですか。</p>
上下水道局次長	<p>金属探知機を使用し、地中の管の埋設状況を確認しているところです。</p>
北野会長	<p>何をしているところか写真の説明があった方が良いでしょう。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり修正いたします。</p>
越阪部委員	<p>各章の通し番号について、第6章だけ通し番号の記載方法が違うので、統一して訂正した方が良いでしょう。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり修正いたします。</p>

高橋委員	<p>「アセットマネジメント」という言葉が出てきますが、用語集や注釈の記載内容は一般的なアセットマネジメントについて述べられています。水道事業においては厚生労働省からアセットマネジメントの手引きが示されていますが、ビジョンに記載されているアセットマネジメントはどちらを指しているのですか。</p>
事務局	<p>厚生労働省の手引きに従ったものです。用語集を含め、その旨、記載を追加します。</p>
金子副会長	<p>審議が重ねられ、非常にわかりやすくなってきたように思います。</p> <p>(2) 所沢市水道事業経営計画の策定について</p>
北野会長	<p>議題「(2) 所沢市水道事業経営計画の策定について」事務局より説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>(資料 3-2、3-3 に基づき説明)</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。</p>
北野会長	<p>32 頁の地下水の揚水量について、人口減少が見込まれ、水需要は減っていくにもかかわらず一定となっています。水の量は、県から購入する量で調整するということですか。</p>
上下水道局次長	<p>その通りです。地下水の揚水量を減らしてしまうと、水が滞留し、水質の悪化につながります。水質を維持するためには、一定の量は常に汲み上げていく必要があるためこのようにしています。</p>
北野会長	<p>地下水を汲み上げると、地盤沈下等の心配がありますが、大丈夫なのでしょうか。</p>
上下水道局次長	<p>過去に地盤沈下が発生した事例はありますが、現在は毎年、県において地盤沈下や地下水の水位を調査し、問題がないことを確認しています。</p>

高橋委員	<p>様々な推計について、令和2年度の値を掲載していないのはなぜでしょうか。</p>
経営課長	<p>現時点での推計値はありますが、本計画は令和3年3月31日策定となるため、推計値をそのまま載せることについては、矛盾が発生してしまうものと考えています。</p>
高橋委員	<p>令和2年度は、策定時点の推計値であると記載すればよいのではないのでしょうか、または、すべて令和3年からとすればよいのではないのでしょうか。市民の方が目にしたときに、1年度抜けていることに違和感を覚えるのではないかと思います。</p>
金子副会長	<p>令和2年は新型コロナウイルス感染症対策として、2か月間水道料金を免除したという特殊な事情があったので、記載しないこととしたのかと思っていました。</p>
北野会長	<p>令和3年度からで良いのではないのでしょうか。</p>
経営課長	<p>所沢市総合計画でも同様の記載となっているところではありますが、委員ご指摘のとおり、わかりにくい点もありますので、より良い表現の方法について検討させていただきます。</p>
高橋委員	<p>52頁、53頁の表が非常に難しいと思います。水道利用加入金などの用語の説明が不足しているし、長期前受金戻入などは他市では1頁使って説明している例もあります。もう少しわかりやすく記載はできないのでしょうか。</p> <p>また、53頁に記される補填財源について、令和元年度の63億円が令和3年度では33億円となっていますが、なぜ30億円も減少しているのですか。</p>
事務局	<p>この表の体裁については、総務省から示されている標準様式を使用しています。ご指摘いただいたわかりにくい用語については、用語集に追記し対応させていただき、表自体はこのままとさせていただきたいと考えます。</p>

<p>経営課長</p>	<p>委員ご指摘の令和元年度から令和3年度の補填財源の減少については、令和元年度が決算値であるのに対し、令和3年度は予算ベースでの試算となっています。実績では令和元年度の予算値に対し決算値は10億程度の乖離が出ています。建設改良工事の増加などの要因により、補填財源が減少していく傾向となっているのは事実ですが、こうした予算、決算の差異等によりこのような値となっています。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>30億円を使用したわけではないということですか。</p>
<p>経営課長</p>	<p>使用したわけではありません。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和2年度におけます新型コロナウイルス感染症による経済等への影響に鑑みて、水道料金2か月分を免除させていただきましたため、その影響もあります。</p>
<p>経営課長</p>	<p>52頁、53頁については、委員ご指摘のとおり非常に難しく、一般の方向けではないのは確かです。そのため、現状では令和8年度に赤字になるというところをご理解いただければと思います。その数値的な根拠については、後程説明させていただきます。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>令和12年度には、収益的収支は約5億7,000万円の赤字、資本的収支は約23億円もの赤字になっていますが、それでも補填財源残高は30億円もあるのですか。</p>
<p>経営課長</p>	<p>補填財源は約30億円が常に残るように収支の計画を立てています。理由としては、災害時に対応可能な現金を残しておくためです。補填財源は、資本的収支の赤字額を補填するためのものであるため、資本的収支の収支差引額がそのまま補填財源の使用額となります。補填財源は、企業債の借入れなどで残高の確保を図っています。</p>
<p>金子委員</p>	<p>そのために令和元年度の企業債残高約75億円が令和12年度には約244億円になるのですね。それが問題であると思います。</p>

<p>経営課長</p>	<p>企業債の金額については大きな問題だと考えています。所沢市の現在の企業債の額は、類似団体と比べて非常に低い水準となっています。類似団体の中には、現段階ですでに企業債残高が、200～300億円程度ある団体もあります。もちろん企業債の額が増えることは良いことではありませんが、そのような状況があることもご理解いただければと思います。ただし、増加傾向にあるということですので、このままではいけないというのは、誰の目にも明らかなのだと思います。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>企業債は何年償還ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>35年償還ですが、最初の5年は据え置きであり、利息のみの支払いとなります。</p>
<p>北野会長</p>	<p>これは一般の方には難しいですね。 基本的には収入と支出があり、不足する部分を企業債で補填し、それを後年に償還していくということかと思いますが、その財源としては損益勘定留保資金等があるようですが、これは何でしょうか。</p>
<p>経営課長</p>	<p>損益勘定留保資金の財源は、収益的収支の減価償却費や純利益です。非常にわかり難いですが、国の指針に従って処理しているところですのでご理解ください。</p>
<p>金子副会長</p>	<p>企業債が、70億から240億に増えてしまうことはやはり問題だと思います。他の団体では現段階でも200億以上の額を借りているから良いというのは、問題の先送りに過ぎず、やはり早めに対処していくべきだと思います。 他の団体でも直近の10年で水道料金の値上げを行っているという話をよく耳にしますし、今後は施設の更新費用も増加傾向であることから、やはりなにがしかの対応は必要ではないでしょうか。</p>
<p>経営課長</p>	<p>委員ご指摘のとおりかと思いますが、このままでは立ち行かなくなるのは明らかです。これに対応するのが今回の水道ビジョンや経営計画になります。 なお、今は、大きな視点からご議論いただくためにお示ししていますが、本収支計画についてはパブリックコメントに諮る予定はあ</p>

金子副会長	<p>りません。</p> <p>他の団体の状況もありますが、今後のことを議論していかなくてはならないということは私どもも認識しております。その為に経営計画の42頁には「6-5-2 適正な水道料金の設定」という項目を設けさせていただいています。</p> <p>この記載についてお認めいただければ、次の段階として、運営審議会の中で検討が進んでいくものと認識しております。</p> <p>安全な水をしっかり供給し続けていくためですから、市民理解も得られるものと思います。現在の所沢市の水道料金は、県内では下から8番目とかなり安い方だと思えますし、少し料金を上げさせていただいて、企業債を抑制するようにする方が良いものと考えます。</p>
高橋委員	<p>令和12年度には企業債の額が244億円にもなるのに、返済額は5億円で良いのですか。35年償還で毎年度5億円では償還できない様に思うのですが。</p>
事務局	<p>企業債については、借り入れから5年間は元金の償還が発生しません。例えば令和5年に借り入れた企業債の元金償還は令和12年から開始することになります。そのため、令和12年以降元金の償還額は大きくなっていくシミュレーションになっています。</p>
高橋委員	<p>このままでは破綻してしまうのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>お示ししている通り、令和8年度には赤字経営になる見込みです。赤字ということは、現金が入ってこないことになりますので、企業債で賄うことにより借入額は大きくなり、結果的には、経営状況は苦しくなります。</p> <p>今回のシミュレーションにあたっては、建設工事担当課と調整して、建設工事に係る費用の平準化を行い、年度の執行額にばらつきがないように調整を図っています。</p>
高橋委員	<p>56頁にアセットマネジメントの検討を行ったと書いてありますが、他方で工事時期等について、適切な時期に行うとのあいまいな表現になっている部分があります。アセットマネジメントで検討を</p>

	<p>行っているのではないのですか。また、収支との関連性はどうなっているのですか。</p>
事務局	<p>計画の策定にあたっては、国の示すアセットマネジメント手法の中でも、最も詳細なタイプ 4Dにより分析を行っています。その結果として、例えば今後実施すべき管路の工事延長等が算出できるので、それに対しなるべく費用が平準化できるよう構成したのが 53 頁の収支計画になります。</p>
経営課長	<p>高橋委員ご指摘の企業債の償還については、次回にお示しさせていただきます。</p>
北野会長	<p>経営計画は、基本的に収支均衡を図るものですよね。そのため、不足する部分を企業債で穴埋めしているわけですが、これについて本審議会で認めるか否かについては、認めがたい部分があります。</p> <p>やはり、水道料金値上げの議論が必要と思います。本審議会において当初から民営化は反対しておりますが、職員の削減等の努力をしているものの、今後、水道管の入れ替えもしないわけにはいきません。その不足する資金を借金で賄い、その負担を後世に先送りするというのは、簡単には容認できるものではありません。</p>
事務局	<p>現在、水道管の更新にあたっては、最新の技術を用いて、100 年使用可能といわれる水道管の布設を開始したところです。そのような点から、将来不安はある程度解消できるのではないかと考えています。</p>
北野会長	<p>水道事業は企業会計として独立採算が求められているため、市の会計から補助金をもらうことは難しいのでしょうか。</p>
事務局	<p>総務省によれば、料金の適正化に鑑みて必要があれば可能とされてはいますが、独立採算が原則とされています。</p>
北野会長	<p>後の世代に大きな負担を残してよいとは思えません。</p>
金子副会長	<p>借入による金利も負担が大きいものと思います。</p>

経営課長	引き続き、収支計画説明資料の説明をさせていただきます。
北野会長	説明をお願いします。
経営課長	収支計画説明資料について (資料3-4に基づき説明)
北野会長	ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。
上下水道局長	<p>収支計画について、非常に言葉が難しいというのはおっしゃる通りだと思います。我々が一番危惧しているのは52頁の収益的収支です。こちらが令和8年度に赤字になります。53頁の資本的収支については現在でも赤字になっていますが、こちらは補填財源となる収益等から費用が回っていく状況になります。</p> <p>令和8年度にはご利用者様からいただく水道料金では、費用が賄えなくなってしまいますので、委員の皆さまがおっしゃる通り、水道料金の改定といった議論が必要になるかと思っています。もちろん経営努力による費用の削減等は必要ですが、このままでは非常に厳しいということを示している収支計画であることをご理解いただければと思います。</p>
経営課長	<p>経営計画というのは、本来赤字を出さないために策定するものです。赤字のままでは計画の策定はできません。収支計画についてはパブリックコメントには「調整中」の表示をもって数字は出しませんが、計画策定の際には赤字にならない様に調整した上で策定することになります。このままでは計画として答申いただくことはできませんので、改めてご確認いただくこととなります。</p>
北野会長	<p>本審議会の立場として、このように赤字のままで良いとは当然答申できません。実際の値上げの判断等は、議会が行うものと思いますが、例えば水道料金の値上げなどにより収入の改善を図り、答申を行うしかありませんね。</p>

金子副会長	<p>今まで健全な経営を実施してきたので、今年度コロナ対応として料金の2か月間の免除が実施できたわけですね。「今後も安全な水をしっかりお届けしたいので、お願いします。」と丁寧に説明すれば、料金の値上げについても理解を得られると思うのですが。やはり、将来に負担を先送り、というのは避けるべきなのではないでしょうか。</p>
高橋委員	<p>四日市市だったと思うのですが、市によっては料金改定の見込みについて、「何年ごろに実施します」と書いている例もあったかと思えます。パブリックコメントには、収支計画は出さないということでしたが、料金収入が上がっていれば、読んだ方には料金の値上げがあることはわかりますよね。そうすると、市議会に示した際にそのような質問があることも想定できますが、その場合には、現状をしっかりと説明し、理解を得るしかありませんね。我々としてはやはり負担を将来に先送りし、後で決めればよいといった答申はできないと思います。年度や金額は明記しなくとも、方向性の提示は必要ではないでしょうか。もちろん、市民として料金は上がらない方が良いのですが。</p>
北野会長	<p>独立採算という原則を貫く以上は、受益者負担を考えなければならないので、どうすれば収益的収支が均衡し、将来に負担を残さない様に見えるのか、検討が必要ですね。最終的には行政が判断することですが、我々としては責任ある答申を行わなければなりません。</p>
高橋委員	<p>パブリックコメントにはどのような形で出るのですか。</p>
経営課長	<p>収支計画については「調整中」として、パブリックコメントを実施します。所沢市総合計画等でも同様の手法を取っています。</p>
北野会長	<p>基本的な考え方をパブリックコメントに諮るということですね。</p>
経営課長	<p>そのとおりです。</p>

北野会長	<p>パブリックコメントは、我々が案としてまとめたものを、市民の皆さまに諮るものですから、現状の収支のままでは当然出せません。そうすると、基本的な考え方について諮る、ということになると思います。</p> <p>パブリックコメントはもっと後に実施することはできないのですか。私としては、ある程度数字を示した上でパブリックコメントに諮った方が良いのではないかと思うのですが。</p>
経営課長	<p>パブリックコメントの実施については1月を予定していますが、3月の策定を予定していますので、これ以上後に遅らせることは難しいです。</p>
北野会長	<p>経営計画の収支を除いて諮るというわけですね。</p>
事務局	<p>収支計画を決める前に、施策事業についてご意見をいただきたいと考えております。事業について、水道事業としてやるべきものか否か、ご判断いただいて初めて収支計画が成り立つものと考えております。</p>
北野会長	<p>実施事業については、特に問題なく、是非実施してほしいという事になると思いますが。私としては、もっと詳細に議論して初めてパブリックコメントに諮られるものと思っていました。</p> <p>国のパブリックコメントも、最終案としてできたものが諮られています。数字まで入れたもので実施できればと思いますが、3月の策定を考えると難しいのでしょうか。</p>
経営課長	<p>パブリックコメントを後ろ倒しにすることは難しいです。</p>
高橋委員	<p>厳しいことを言うようですが、水道ビジョンも経営計画も収支計画の有無以外、ほとんど内容は同じです。経営計画の肝心な部分は、仮に見た人が理解できなかったとしても、やはり収支計画ではないのでしょうか。収支計画を示さないパブリックコメントを実施することで良いのでしょうか。</p>

経営課長

先ほどもお伝えしたとおり、収支計画については赤字の状況を一般市民の方に示すことはありません。こうすれば黒字になるという形でお示しすることになります。

そのため、次期以降の審議会では、これだけの事業を実施するためには、水道料金の体系をどうすればよいのか、水道利用加入金や浄水場建設費負担金というものもありますので、そういったものも含めて、どうすればその費用を手当てできるのか、そのようなことを諮りたいと考えています。

令和元年度と令和3年度の決算にずいぶん差があるとのことご意見もありましたが、令和8年に赤字になるというのも、現状の試算であり、我々としても、この赤字となる年度をどうにか先延ばししたいと考えています。また、料金の値上げが致し方ないとしても、その値上げ幅については、可能な限り圧縮したいと考えています。

その上で後年に、収支のギャップをどうすればよいかを議論していただきたいと考えています。

現在の状況はあくまでも黒字ですので、今、料金をいくら値上げする必要があるといった議論をするのは難しいと考えています。そういった事情から、今回、本審議会には、水道料金の金額についての諮問はありません。

今の計画に従って事業を進めた際に、どれだけのサービス量が必要なのか把握した上で、後年に料金の議論を、その時の審議会にしたいと考えています。

また、パブリックコメントをもっと遅くすることはできないかのご意見もいただきましたが、計画の審議としてはかなり回数を重ね、ご議論いただいたものと考えています。また、高橋委員のご発言にありましたように、経営計画はビジョンの考え方に従っていますので、実際には第6章の事業の部分に議論は絞られているものと考えています。次回は11月にご審議いただく予定ですが、その結果をもってパブリックコメントを実施するのが適切であると考えています。

北野会長

パブリックコメントを実施する際に、どこまで審議会の意向を入れるかということかと思えます。実際の値上げ金額等については後年の審議に譲るとしても、値上げの必要性について言及しなければ、本審議会として何の意思表示もしないことになってしまうのではないのでしょうか。

	<p>そのあたりについては次回審議させていただきたいと思います。</p>
北野会長	<p>(3) 令和元年度 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について</p> <p>議題「(3) 令和元年度 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について」について事務局より説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>(資料に 3-5 に基づいて説明)</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。</p>
北野会長	<p>次回の審議会で、総合的な意見としてまとめたものを提示していただくということによろしいでしょうか。</p>
経営課長	<p>そのとおりです。</p>
	<p>(4) その他</p>
北野会長	<p>議題「(4) その他」について事務局より説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>2点あります。</p> <p>1点目ですが、次回審議会は11月26日午後2時から予定しています。</p> <p>審議の内容としては、水道ビジョン、水道事業経営計画、令和元年度施策事業の進捗状況についてのとりまとめ、となる予定です。</p> <p>次回の審議会では、水道ビジョン並びに経営計画については、本審議会と、市長部局の意見も取り入れた(素案)としてお示しする予定です。その後、1月にパブリックコメント実施の予定となります。</p> <p>以上のことから、今回も質問・意見等提出用紙をお配りしていますが、今回で最後になるものをご理解ください。</p> <p>2点目ですが、本日イルミネーションマンホールの配置図をお配りしております。すでにご存じかもしれませんが、8月1日に日本初となる「光るマンホール」を東所沢駅からサクラタウンに至る歩道に設置したところです。よろしければご覧ください。</p>

北野会長	<p>また、本日プレスリリースをしていますが、今年度市制施行 70周年を迎えたことに併せて、市内在住の漫画家であり、アニメ監督である安彦良和氏にデザインを依頼した、記念マンホール蓋を設置します。</p> <p>11月6日に、サクラタウンのグランドオープンと併せてお披露目し、設置しますので、機会がありましたらご覧ください。</p> <p>以上で本日の議事は全て終了しましたが、委員の皆さまから他に何かありますか。</p> <p>以上で本日の議事は全て終了します。</p> <p>4. 閉会</p>
金子副会長	<p>長時間の審議ありがとうございました。</p> <p>審議会の議論はこれから正念場となるかと思いますが、また来月もよろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第3回所沢市上下水道事業運営審議会を閉会とさせていただきます。</p>